

14. 復活

復活に関して、多くの人が永遠を願うし、生き返りを願う。ゲームでも呪文を唱えたら生き返る。不老不死の研究も常に行われている。権力者も不老不死を望んだが、むなしく死んでいった。永遠、復活とはどういうものか。イエスは3日半後に復活した。

コリント人への第一の手紙 15 : 42~44

死人の復活

コリント人への第一の手紙 15 : 50~54

ラッパ=真理の御言葉

キリストが来たら死者がよみがえりと思っているクリスチャンもいる。

テサロニケ人への第一の手紙 4 : 16~18

死んだ人々がよみがえり、空中引き上げ…

そんな非科学的なことが行われるか。

旧約の復活とは？

イザヤ書 26 : 19

あなたの死者は生き…

ユダヤ人も肉体の復活を信じていた。だからニコデモもイエスの言った復活の意味がわからなかった。

しかし同じ章に

イザヤ書 26 : 14

死んだ者はまた生きない。

ヘブル人への手紙 9 : 27~28

人は一度だけ死ぬことが定められている。→肉体の死は絶対予定

では生き返るとは？

ルカによる福音書 15 : 11~25

放蕩息子の話

父=神様、兄=律法学者

天との関係性が壊れる=死 天との関係性の回復=復活

創世記 2 : 15~17

善悪を知る木の実を食べたアダムは肉体的に死ななかったが、神様からエデンを追い出された（霊的に死んだ）。

ローマ人への手紙 5 : 12

アダム一人の死によって

同 8 : 21~22

死人を葬るのは死人にと。

ヨハネによる福音書 6 : 63

人を活かすものは霊。

復活は御言葉聞いて霊が復活すること。

ヨハネによる福音書 5 : 22~29

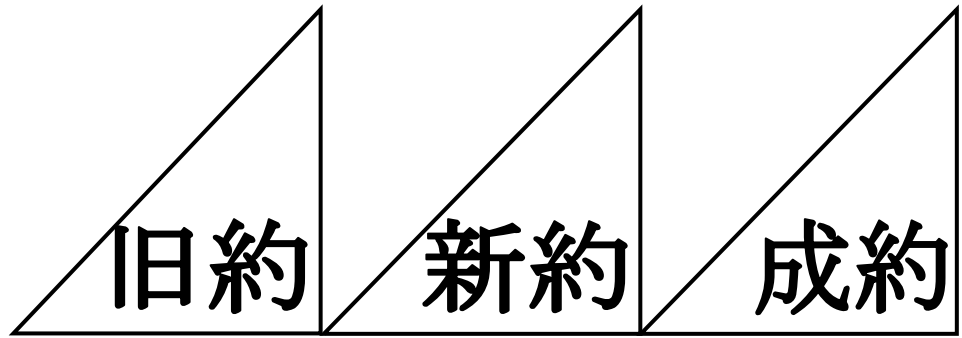
アダムが墮落したので、本当の意味での復活。

コリント人への第一の手紙 15 : 20~24

キリストは死人の中からよみがえった。

コリント人への第一の手紙 15 : 40~42

それぞれ栄光に差がある。



神様と人間の関係性	僕	子	恋人
霊級	蘇生級	長成級	完成級
霊の形状	ぼんやり	肉体とほぼ一致	肉体の如くはっきり

日本は神様を知らず雑霊が多いので、足が無かったり、ぼんやりした霊が描かれる。
 イエスの霊は完成級だった。
 旧約の人はどれだけがんばっても蘇生級以上になれない。
 霊的復活はキリストから。

肉体があるときにどうしたらいいのか。

伝道の書 12 : 1

あなたの若いうちにあなたの作り主を覚えよ。
 肉体と霊魂が一緒にいるとき復活しないといけない (重生復活)

コリント人への第一の手紙 15 : 31

パウロは日々死んでいる→イエスの教えがあまりにもすばらしくて、昨日は今日に比べたら死んだようなもの。毎日復活している。

復活は次元が引き上げられることも含まれる。霊肉ともに復活しないといけない。

肉体があるから霊的实践ができる。

Rも日々復活している。神様の世界では何をやるにしても昨日と同じではいけない。

生きているのは名ばかりで死んでいてはいけない。

マタイによる福音書 17 : 1~8

モーセ、エリヤからも蘇生級から抜け出せないから、イエスから御言葉を学んでいた。→再臨復活

霊界は波長の世界だから、似たような霊が集まる。

ヘブル人への手紙 11 : 35

女たちは救いを確信していたので、迫害にゆれることがなかった。ステパノも石で撃ち殺されて死んでいくとき、霊的救いを信じていた。

エペソ人への手紙 4 : 11~16

キリストの次元にまで成長しないといけない。神様はキリストを完全のモデルとして送られたので。Rも最初は御言葉しかなかったが、サッカー、バレー、文化・芸術も高めた。一人一人が復活のモデルにならないといけない。神様が人間を恋人として造ったので同レベルまでいかないといけない。

日々復活が社会人当初決めた目標。社会人は核心をつかまないといけない。
キリスト教では復活はどのように考えられているのか。

コリント人への第一の手紙 15 : 51~52

テサロニケ人への第一の手紙 4 : 16~17

クリスチャンは肉体の復活を信じている。

伝道の書 3 : 15

今あったものは昔あったもの。

イザヤ書 26 : 19

エゼキエル書 37 : 12 : 13

ダニエル書 12 : 2

これらはイエスが来た時の預言。さてイエスが来たとき蘇ったか？復活とは？

復活しろと言われたら復活していない、すなわち死んでいるのか。

創世記 2 : 17

食べたらきつと死ぬだろうとあったのにアダムは 930 歳まで生きた。死んだのは肉ではなく霊だった。

ルカによる福音書 15 : 22~24

放蕩息子の話。父と関係性が切れている。死は関係性が切れること。

ヨハネ第一の手紙 3 : 14

コリント人への第二の手紙 7 : 10

この世のこと。

ヤコブ人の手紙 2 : 26

死んでいる＝神様と切れている。

テサロニケ人への手紙 4 : 16~17

ラッパは当時、時を知らせるもの＝御言葉で福音を伝えること。

ヨハネによる福音書 5 : 24

御言葉をきいて復活しているが、復活し続けるといけない。

コリント人への第一の手紙 15 : 51~52

瞬く間＝神様の瞬く間。神様から見たら肉体の寿命も瞬く間。復活には時間がかかる。

先に復活した復活のモデルのRがいるのは大きいこと。逃して離れないこと。復活するにはRをもっと知ること。

復活した本人よりそう導いた方が一番うれしい。足りないこともいっぱいあるが、そんな中でもこう変わったと。

自分が死んでいるということが分からないといけない。

コリント人への第一の手紙 15 : 31

私は日々死んでいる＝日々復活する人生を